緑ゆたかな美しい新潟に

新春座談会

若者四人が活発な意見

出席者
樋山文夫さん　35歳　新潟臨港海陸運送
木下力雄さん　32歳　日本ガス化学
斎藤佐和子さん　23歳　興亜火災海上保険
桑野則子さん　21歳　北越銀行
渡辺市長

公害で明け、公害で暮れる1970年。かつての歴史の中で、[illegible]と叫ばれた時代はなかったであろう。

都市とは、いったい[illegible]人々の文化的、歴史的遺産である。人[illegible]ただ住み良い都市はあなたまかせでは完成しない。[illegible]に為政者だけが造るものでもない。

住民の愛情と理解がそそがれ[illegible]そ、美しくあたたかみのある都市が誕生する。

新潟を美しくうるおいのある都市として開花させるにはどうすればよいのか――をねらいに、若い四人が市長を囲んで新春座談会を開いた。

その内容を紹介すると……。

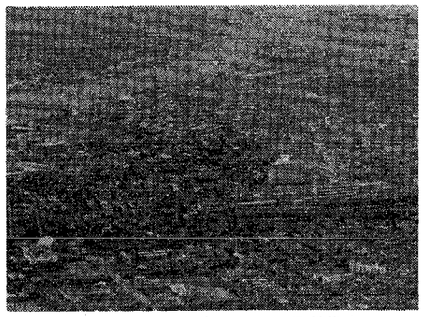
公害防止条例を制定
人間優先の市政が目標

市長　人間優先の市政を目指して、ことしは公害問題に積極的に取り組む考えだ。

樋山　人体に直接影響がないので、あまり感じられていないようですが、地球汚染が新潟最大の公害と思う。全国規模をもってやられようと、大気が汚れ、自然がこわされるように、新潟も二の舞いをふむようになるかもしれない。

市長　近年中に全面規制はもちろんのこと、環状道路や郊外から中心部へのモノレールの建設などを、実現化の方向で検討してもらいたい。

市長　いろんな角度から考え、市民の安全を第一として交通問題に対処したい。


一層の発展が約束されている新潟市

斎藤　産業などの近代化は[illegible]ずるとして、これからの新潟の姿というものを聞かせてください。

市長　学者などの専門家十三人から成る[illegible]計画委員会というもので、面積は約[illegible]三十八万坪）です。開発分水（三千八百万トン）が通水すると川幅が百七十[illegible]なるためその河川敷きに、野球場やテニス場、子供の交通公園、気軽さと散歩できる遊歩道、さらにボート遊びのできる水上公園などを造りたいと考えている。

斎藤　海岸のない松林やすばらしい公園など思いますが、夕方は自由に散歩できません。信濃川公園はいつでも自宅に楽しく行ける場所にしてほしい。私たちもそうなるよう協力したいと思います。

木下　そう、市民の財産という感じで大切にしないと。市民がそう感じるためには、公園内の施設を充実しないとだめだ。

桑野　治水ましたし、ハイどうぞでは、感心できません。

市長　昨年十二月に公園緑地課を新設しました。この課を中心に皆さんの御意見のゆくようにしたいと思います。また佐潟周辺の開発なども考えている予定だ。その手始めに、新潟駅―佐潟小学校―中通りとした海岸線大パノラマラインを造る考えだ。また鏡洲公園を中心とした海岸線大パノラマラインとする構想もある。

樋山　信濃川は市の中心地にもあり、ここに公園ができれば利用する人数は[illegible]民に緑と水辺のスローガンをつくってほしい。

市長　信濃川公園は、分水[illegible]で積極的にやってほしい。

桑野　新潟は緑の少ない町といわれますが……。

市長　少ないことは事実だ。現在一人当たりの公園面積は〇・七五平方㍍だが、これを昭和五十五年までに七・四四平方㍍にする予定になっている。

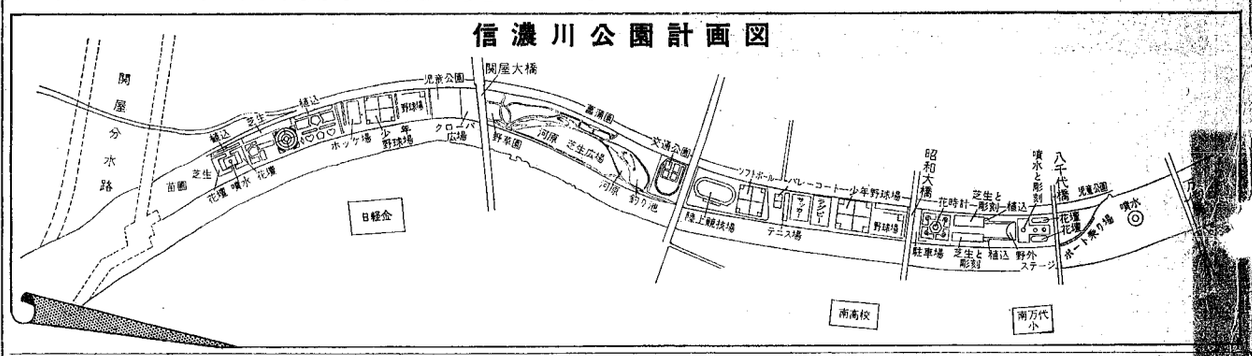
斎藤　具体的にはどんな計画があるんでしょうか？

市長　まず関屋分水完成後の信濃川跡地と信濃川公園を造る。それから鳥屋野潟の近くに交流公園、青山球場の北に次ぎ公園を造る考えだ。また鏡洲公園を中心とした海岸線大パノラマラインとする構想もある。

樋山　信濃川は市の中心地にもあり、ここに公園ができれば利用する人数は[illegible]民に緑と水辺のスローガンをつくってほしい。

市長　信濃川公園は、分水[illegible]で積極的にやってほしい。

信濃川公園を計画
面積は約38万坪



みんなで市政に参加

木下　公害にしても、問題が起きてからダメだという声が出てくる。これは自分の生活が市政とつながっていないからだと思う。そういう感じをもっと市民にもってもらうよう努力すべきだ。

斎藤　同感です。おじいさんたちが政治と結びつかないとだめだ。

桑野　産業の発展ももちろんだけれど、発展の既方となっている若い人が勉強でき、話し合える場所も造ってもらいたい。また、開園が変わっているの政治家が引き張るには、環境の変化に応じて政治に参加できるようなルートを作ってほしい。

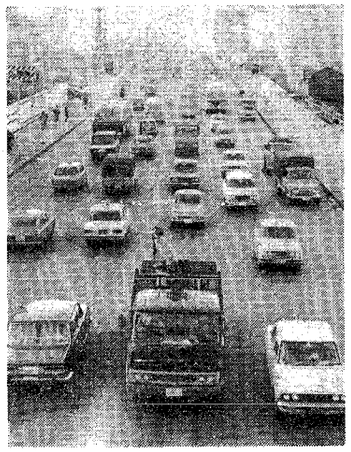
市長　市民なら広く意見を聞くという公聴活動を実施せて、市民不在は絶対にないようにしたい。そしてみんなで力を合わせて市を良くしていきたいと思う。

木下　所得の上昇とともに、自分の生活を見直せるようになってきた。しかし余裕はあっても、考える場所がない。そこで、複層学校のようなものをつくり、もっと座席間的知識を得て、さらに人間形成をすればよい。そうすれば自分の生活と社会との関係がはっきりわかるようになると思う。

樋山　社会が複雑し、行政がさらに広域化するにつれて、市民はなんだか政治と縁遠くなる感れが多分にある。そうならないよう、今から民が政治に参加できるようなルートを作ってほしい。

市長　市民なら広く意見を聞くという公聴活動を実施せて、市民不在は絶対にないようにしたい。そしてみんなで力を合わせて市を良くしていきたいと思う。

交通問題は安全が第一


市では交通安全対策に力を入れています。しかし交通問題の解決には、ドライバーの協力と自覚が必要。

木下　市民に密着した考え方で言うと、ドライバーの自覚だけはこういう時機感覚をなくしてもらいたい。あくまでも歩行者優先だ。また市民として自分がこういう立場にあるかよく考えてほしい。例えば、駐車問題でも、自分の車を駐車出来れば人の歩行はどうでも……これでは市民が大変迷惑をこうむる。

市長　同感だ。昨年、交通対策強化のために交通監察官一[illegible]場と市の指導による民営駐車場を設置してほしい。

桑野　交通量の増加と共に交通渋滞がいたるところで起きています。バイパスなどの整備を図らねばならないと思いますが……。

市長　交通監視は強化もつながる。そこで、亀田バイパスや緊急のなど大幅な予算が期実現するように努力したい。

樋山　市の都市計画として交通問題を考えた場合、産業と直結する臨海開発はもちろんのこと、環状道路や郊外から中心部へのモノレールの建設などを、実現化の方向で検討してもらいたい。

市長　いろんな角度から考え、市民の安全を第一として交通問題に対処したい。

老人に医療給付
福祉センター三月に完成

木下　住宅不足を訴えるにわかしていますが、市営住宅のイメージチェンジが必要と思う。市営住宅には裕福の低い人がいるという感覚がある。東京の公団住宅に匹敵する市営住宅を造れば、自分の家を持とうという気持ちがなくなり、若い人も入居できると思う。

桑野　産業の発展とも関だけど、発展の既方となっている若い人が勉強でき、話し合える場所も造ってもらいたい。また、開園が変わっているの政治家が引き張るには、環境の変化に応じて政治に参加できるようなルートを作ってほしい。

市長　市民なら広く意見を聞くという公聴活動を実施せて、市民不在は絶対にないようにしたい。そしてみんなで力を合わせて市を良くしていきたいと思う。

樋山　社会が複雑し、行政がさらに広域化するにつれて、市民はなんだか政治と縁遠くなる感れが多分にある。そうならないよう、今から民が政治に参加できるようなルートを作ってほしい。

木下　とにかく新潟のまわりが臭い海にならないよう、今から一つ一つ解決していってほしい。

桑野　私たちに関係ないからということでなく、いずれ私たちに振りかかってる問題なんだから積極的に声を出さないと……。

斎藤　起きてしまった後で、それに反発して騒いでいる人が多いような気がします。公害が起きる以前に対策をしてるようなことをしないと……。

木下　また、公害が起きないように、工業地帯とベッドタウンが最初から計画的に配置されていないためなど、市では大気汚染や工場排水の定期的なチェックをやってるでしょうか。

市長　それ、市内二千九カ所で大気汚染の常時調査をおこなっており、また工場の騒音調査や工場排水の水質調査など、積極的にデーターを集めています。

樋山　市民の公害意識がまだ低いんじゃないかなあ？

市長　まず新潟市の公害とは何かを知るのが第一だ。私営が公害に対している施設等はまず新聞、テレビで報かれ、意識しがないようだ。

木下　所得の上昇とともに、自分の生活を見直せるようになってきた。しかし余裕はあっても、考える場所がない。そこで、複層学校のようなものをつくり、もっと座席間的知識を得て、さらに人間形成をすればよい。そうすれば自分の生活と社会との関係がはっきりわかるようになると思う。

桑野　新潟は港をバックとした海陸・商業都市で、港と商業は切り離せない。今日中国の輸入が入っていたが、これからは対岸貿易がどんどん盛んになると思う。そして感れた人間性を背景に新潟を発展させねばならない。

樋山　国土計画協会の発表によると、新潟は総合開発機能をもった都市と言われますが……。

市長　そう、それが新潟市の特徴だ。そして拠点都市的性格もある。

樋山　市が八月にやった世論調査では、新潟市の望ましい発展形態として、産業開発都市、工業都市、教育文化都市、地方中枢都市に意見がわかれている。これを見ても市が総合的機能を持っていることがわかる。単一的機能都市でなく、マスタープランに基づいて、総合的都市として新潟が発展するよう市民に指導してほしい。

市長　現在の市の都市計画は総合的機能の都市造りをめざしている。

木下　それだけ魅力があるからだと思う。